

き かんが じっ こう
気づき、考え、実行する。

いしかわ青少年赤十字ニュース



しょう・ちゅうがくせいごう

小・中学生号



ねん がつ ほんごう
2018 年 4 月発行
にっ ぽん せき じゅう じ しゃ いし かわ けん し ぶ
日本赤十字社石川県支部

青少年赤十字加盟校の活動

はくい し りつ おう ち しょう がっ こう
羽咋市立邑知小学校

お手製カルタで学ぶ交通安全

邑知小学校では、地域の交通安全協会と邑知公民館と連携して、6年生が中心となって「交通安全カルタ」を制作しました。このカルタは、地域の小さい子どもと高齢者が、カルタ遊びを通して交通安全の意識を高めることが狙いでした。制作にあたっては、絵札づくりを6年生が担当することに。しかし、読み札づくりは、全校にも交通安全の意識を高めたいと考え、全校で取り組みました。読み札を絞り込み、その内容に合う絵札を仕上げるには時間がかかりましたが、地域の方にも喜んでいただき、子どもたちは仕上げた喜びと達成感を体験することができました。カルタを通して、交通事故ゼロの学校を目指します。



こ まつ し りつ まるの うち ちゅう がっ こう
小松市立丸内中学校

自然を大切にすることを育む清掃活動

丸内中学校では、毎年3月と9月に地域の梯川清掃活動に参加しています。例年、部活動ごとに多くの生徒が参加していて、早朝からゴミを拾いながら梯川のほとりを歩きます。ゴミ拾いの時には地域の人々との交流があり、活動終了後梯川がきれいになることから生徒は毎回大きな達成感を感じています。また、清掃活動を通して自然を大切にすることを育まれてきました。今後も、地域に育てられていることに感謝しながらこの梯川清掃ボランティアに参加していきたいと思っています。



の の いち し りつ み その しょう がっ こう
野々市市立御園小学校

V・Sカードの取り組みでみんな笑顔に

御園小学校のボランティア委員会がJRCに加盟して、4年。昨年度からは「V・S」※という言葉を全校に定着させるべく、V・Sカードの取り組みを続けてきました。内容は「あいさつ」「ごみひろい」「おてつだい」「そのほか」に○をつけるだけの簡単なものなので、1年生から6年生まで、誰でもすぐに取り組むことができます。そして、10個「○」がついたら、給食の時間にボランティア委員が「V・Sを讃える歌」を歌いに行きます。歌の中に、カードを出してくれた人の名前を織り込んでいるので、みんなニコニコです。

※V・S(ボランタリー・サービス)・・・誰からも指示されることなく自ら進んで周りの人のために役立とうとする活動のこと



かな ざわ し りつ じょう なん ちゅう がっ こう
金沢市立城南中学校

地域へのリサイクル・環境美化ボランティア

城南中学校では、毎年夏と秋の2回、保護者や地域の方々の協力を得て、アルミ缶回収と生徒玄関前のプランターの花植えを行っています。アルミ缶回収は全員参加で自分の住む地区の家庭からアルミ缶を回収しています。また、トラックの待ち時間を利用して地域の清掃活動も行っています。花植えはボランティアで行いますが、毎年多くの生徒が参加しています。生徒玄関を花でいっぱいにし、訪れる方々が少しでも和んでくれればという思いで行っています。リサイクルの活動と地域の環境美化に少しでも役立とうと生徒たちも熱心に取り組んでいます。



● 宿泊研修会「リーダーシップ・トレーニング・センター」

平成29年7月29日(土)～31日(月)、羽咋市の国立能登青少年交流の家で、「青少年赤十字リーダーシップ・トレーニング・センター」が行われ、県内小中高校のJRCメンバー57名が参加しました。参加メンバーは、赤十字の歴史や基本原則、防災教育プログラム、心肺蘇生や三角巾を使ったきずの手当などを学んだほか、野外炊飯やキャンプファイヤーを通して、楽しみながら友情を深めました。

自然の中で火を囲んで参加メンバーと交流を深めます。



トレセンの中で感じたことや考えたことなど、自由に話します。

ことし
今年のトレセンは、
7月28日(土)～30日(月)に
開催予定です!

みなさんの参加を
お待ちしております!!



● JRC加盟中学校へ書籍がおくられました

平成29年10月3日、日本赤十字社の事業を支援している石川県日赤紺綬有功会から、JRC加盟の中学校22校へ書籍がおくられました。おくられた書籍は、日赤長野県支部が製作した絵本『赤十字の父 アンリー・デュナン』のほか、日本赤十字社の創設者である佐野常民の歴史を綴った『日赤の創始者 佐野常民』や、青少年赤十字の歴史について学べる『少年赤十字と絵本画家 岡本帰一』の計3冊です。

